

第11回教師&
専門家のための

不登校問題研修会

『子どもの心を捉える生徒指導とは』

○開催主旨

不登校児童・生徒数は教育機関の対策や努力にも、かかわらず年々増加傾向が続いています。更に年齢層の幅の広がりとともに質的にも様々なタイプが存在し、同時に多様な様相を示してきています。また社会問題として捉える傾向も出てきました。不登校のことが学校教育や家庭教育として、問題にされ始めてからもかなりの時間が経過し、学校教育、心理、社会福祉、医学、保育、社会学等、広い範囲の領域において、様々な試みがなされてまいりました。しかし、一領域の対応では効果的な結果が得られず、今日、総合的かつ連携的な取り組みと、理解及び援助者の育成が急務になってきております。

今日、不登校・いじめだけではなく、殺傷事件、家庭内暴力、校内暴力等、様々な子どもの問題が起きています。

そこで12年目の今年度は『子どもの心を揺り動かす生徒指導とは』を探りながら、今日の教育課題「いじめ・不登校・学級崩壊・ADHD」等の問題を一緒に考えていきます。

生徒指導、養護、相談室の先生方だけでなく、不登校にかかわる現場の先生方、児童相談所の相談員の方、また広く不登校にかかわる領域で研究をしている方々を対象に行います。

講師の先生方は実際の不登校児童、生徒をよく理解しており、それぞれの専門分野で活躍している第一人者の方々にお願いしております。

受講される皆様が不登校に関する理解と取り組み（対応）を様々な角度から学び、その実践に生かして頂くことができれば幸に存じます。

開催要項

日 時 平成13年8月22日（水）～24日（金）

会 場 日本消防会館（ニッショーホール）

受講費 全期間 20,000円（学生10,000円）※学生の方は学生証コピーを同封してください。

二日受講 16,000円（学生8,000円）

一日受講 8,000円

・一日参加の場合は学生も一般と同じ金額になります。

・止むを得ない事情により、講師を変更する場合がございます。その際はご容赦ください。

・昼食はニッショーホールの地下、及び周辺のレストランなどでおとりください。（費用は個人でご負担ください）

定 員 700名（受付は先着順、定員になり次第締め切りになります。）

受講対象 教師及び教育関係者・児童相談所相談員・教育相談担当者（カウンセラー・セラピスト・ケースワーカー・臨床心理士・医学関係者・学生）・不登校にかかわる方・保護者の方

申込方法

①パンフレット裏面の申し込み欄に住所（ご自宅住所）、氏名、勤務先を明記のうえ、下記にご郵送あるいはファクシミリでお送り下さい。申込書を送付いただいた段階でお席を確保致します。（確認のご連絡は致しませんのでご容赦ください。）

〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-26-20 教育研究所内 不登校問題研究会事務局

TEL. 045-848-3761(代) FAX. 045-848-3742 (<http://member.nifty.ne.jp/KYOKEN/>)

②申込書送付後、下記いずれかの方法で参加費をお振込下さい。入金が確認され次第、受講証と領収書をお送りいたします。

入金が遅くなる場合はご連絡いただければ幸いです。

・現金書留 〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-26-20/教育研究所内 不登校問題研究会事務局

・銀行振込 第一勧業銀行 洋光台出張所(398) 普通 1310372 不登校問題研究会 幹事 牟田 武生

・郵便振替 00260-1-69863 登校拒否研究会（口座名義は旧称のままです。）

※上記①・②の手続きが完了して申し込みが成立致します。

主催 (社) 青少年健康センター・不登校問題研究会

後援 文部科学省

全国都道府県教育委員会連合会

教育新聞社

申し込み受講のご注意

(1) 受講費の入金が確認され次第、受講証と領収証をお送りします。領収証の宛名は必ずご明記下さい。

(2) 申込書は楷書でご記入下さい。また、夏休み期間中のご送付先として、自宅住所、電話番号もご明記下さい。

(3) 定員制のため、申込後の取消はできません。代替りの方の受講を認めますので、ご一報下さい。

(4) 定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。郵便振替は着信までに1週間ほどかかります。

8月10日以降にお申込みの場合は、必ず電話でご確認の上、ご入金下さい。

(5) テキスト・資料等は会場受付にてお渡しいたします。

(6) 受講証は必ずご持参ください（受講番号は控えを）。

(7) 会場での録音・録画はお断りいたします。

(8) 天災等により、一部地域で交通機関の混乱等があっても研修会が開催された場合は参加費の返金はできません。ご了承下さい。

※冷房の効きすぎの傾向があります。ご注意ください。

平成 13 年度 夏期セミナー/第 11 回教師&専門家のための不登校問題研修会

※初日の開場は会場の都合により午前 10 時ごろになります。

	時間	研修テーマ・講師	講師紹介
八月二十二日(水)	10:30 ～ 11:30	『不登校問題等に対する教育行政の取組』 文部科学省初等中等教育局児童生徒課 生徒指導調査官 吉富 芳正	いじめ・不登校・学級崩壊、校内暴力など、学校は今様々な問題を抱えている。行政として、様々な調査結果を踏まえ、教委・学校における取り組みについて考える。
	11:40 ～ 12:40	『子どもと家庭の諸問題に 対する福祉行政の取組』 厚生労働省雇用均等・児童家庭局 総務課児童福祉専門官 坂本 正子	児童虐待から不登校問題など、今日の家庭は様々な問題を抱えている。児童相談所は児童家庭福祉の立場から具体的な援助活動をしている。行政の取り組みを紹介する。
	13:40 ～ 16:10 ■	シンポジウム『私の不登校体験・親の対応、先生方の指導援助、助かったこと嫌だったこと』 コーディネーター/NHK 週刊子どもニュースキャスター 池上 彰&様々なタイプの不登校経験者 3 名～4 名	様々なタイプの不登校経験者から体験談を聞く。彼らを感じた家庭・学校の対応のあり方を聞き、タイプ別の対応のあり方を一緒に考える。増えつつある不登校に対して明日への援助の手がかりを探る。

八月二十三日(木)	9:30 ～ 11:20 ■	『学級崩壊・授業困難はこうして乗り越える』 国際学院埼玉短期大学教授 附属教育相談研究センター所長 金子 保	学級崩壊・授業困難は全国各地の学校に広がっている。幼児教育から学校教育まで実践的で、誰でも取り組める問題克服の鍵を常に提供する我が国を代表する教育学者から学ぶ。
	12:20 ～ 14:10 ■	『教育臨床から教室へ、求められる 子どもの心を捉える生徒指導』 奈良県教育研究所教育相談係長 池島 徳大	学校現場から教育相談、その後国立教育会館で教員研修活動を行う。再び教育臨床の場に戻り、子供の心を捉える生徒指導を実践する講師から明日の生徒指導のあり方を学ぶ。
	14:20 ～ 16:10 ■	『社会調査から見たいじめ・不登校現象』 大阪市立大学大学院教授 森田 洋司	いじめ・不登校の社会調査からこれらの社会現象を様々な角度からシャープに分析する。人間関係の希薄な子ども達、そこから派生するいじめ、不登校等様々な問題行動の構造を我が国を代表する社会学者から学ぶ。

八月二十四日(金)	9:30 ～ 11:00	『ひきこもり・不登校、肯定的感情を育てる対応』 教育研究所所長・教育コンサルタント 牟田 武生	臨床の場から見た最近のひきこもりを伴う不登校の子ども達。その精神世界の理解と対応。保護者への援助のあり方。否定的感情から肯定的感情に変化する時、再登校・社会参加が始まる。
	11:10 ～ 12:40	『不登校・担任はいかに取り組むか』 国立特殊教育総合研究所情緒障害教育研究室長 花輪 敏男	障害児教育・普通学級から学校教育相談臨床で多くの実績を残してきた講師。すぐに役立つ具体的ノウハウを学ぶ。教育相談者、適応学級指導者、生徒指導担当者必修講座。
	13:40 ～ 15:10 ■	会場の皆様と考える一問一答 『子どもの心を捉える生徒指導とは』 回答者 花輪敏男・牟田武生/司会 増田ユリヤ	悩みを持つ子ども、教師不信の強い子ども、善悪の規範意識の薄い子ども、無気力な子ども、様々な子ども達の心を開くことから始まる生徒指導。受容と指導のバランスを微妙に取りながら進める生徒指導のあり方を具体的に考える。

■のマークは時間内に質疑時間があります。

不登校問題研修会 申込書(平成 13 年 月 日)

※

勤務先名 (領収書宛名)		申し込み・受講の規定をよくお読みになり楷書で丁寧にお書きください。なお、受講証の発送が夏休みに入ることも考えられますので、ご自宅の住所は必ずお書きください。
参加者名	〒 _____ TEL _____	該当する□にチェックし金額を記入してください。 受講日□22 日□23 日□24 日 申込方法□郵送□Fax お支払方法□現金書留□銀行振込□郵便振替 お振込金額 _____ 円
	〒 _____ TEL _____	受講日□22 日□23 日□24 日 申込方法□郵送□Fax お支払方法□現金書留□銀行振込□郵便振替 お振込金額 _____ 円

平成 13 年度 夏期セミナー/第 11 回教師&専門家のための不登校問題研修会

※初日の開場は会場の都合により午前 10 時ごろになります。

	時間	研修テーマ・講師	講師紹介
八月二十二日(水)	10:30 ～ 11:30	『不登校問題等に対する教育行政の取組』 文部科学省初等中等教育局児童生徒課 生徒指導調査官 吉富 芳正	いじめ・不登校・学級崩壊、校内暴力など、学校は今様々な問題を抱えている。行政として、様々な調査結果を踏まえ、教委・学校における取り組みについて考える。
	11:40 ～ 12:40	『子どもと家庭の諸問題に 対する福祉行政の取組』 厚生省労働省雇用均等・児童家庭局 総務課児童福祉専門官 坂本 正子	児童虐待から不登校問題など、今日の家庭は様々な問題を抱えている。児童相談所は児童家庭福祉の立場から具体的な援助活動をしている。行政の取り組みを紹介する。
	13:40 ～ 16:10 ■	シンポジウム『私の不登校体験・親の対応、先生方の指導援助、助かったこと嫌だったこと』 コーディネーター/NHK 週刊子どもニュースキャスター 池上 彰&様々なタイプの不登校経験者 3 名～4 名	様々なタイプの不登校経験者から体験談を聞く。彼らを感じた家庭・学校の対応のあり方を聞き、タイプ別の対応のあり方を一緒に考える。増えつつある不登校に対して明日への援助の手がかりを探る。

八月二十三日(木)	9:30 ～ 11:20 ■	『学級崩壊・授業困難はこうして乗り越える』 国際学院埼玉短期大学教授 附属教育相談研究センター所長 金子 保	学級崩壊・授業困難は全国各地の学校に広がっている。幼児教育から学校教育まで実践的で、誰でも取り組める問題克服の鍵を常に提供する我が国を代表する教育学者から学ぶ。
	12:20 ～ 14:10 ■	『教育臨床から教室へ、求められる 子どもの心を捉える生徒指導』 奈良県教育研究所教育相談係長 池島 徳大	学校現場から教育相談、その後国立教育会館で教員研修活動を行う。再び教育臨床の場に戻り、子供の心を捉える生徒指導を実践する講師から明日の生徒指導のあり方を学ぶ。
	14:20 ～ 16:10 ■	『社会調査から見たいじめ・不登校現象』 大阪市立大学大学院教授 森田 洋司	いじめ・不登校の社会調査からこれらの社会現象を様々な角度からシャープに分析する。人間関係の希薄な子ども達、そこから派生するいじめ、不登校等様々な問題行動の構造を我が国を代表する社会学者から学ぶ。

八月二十四日(金)	9:30 ～ 11:00	『ひきこもり・不登校、肯定的感情を育てる対応』 教育研究所所長・教育コンサルタント 牟田 武生	臨床の場から見た最近のひきこもりを伴う不登校の子ども達。その精神世界の理解と対応。保護者への援助のあり方。否定的感情から肯定的感情に変化する時、再登校・社会参加が始まる。
	11:10 ～ 12:40	『不登校・担任はいかに取り組むか』 国立特殊教育総合研究所情緒障害教育研究室長 花輪 敏男	障害児教育・普通学級から学校教育相談臨床で多くの実績を残してきた講師。すぐに役立つ具体的ノウハウを学ぶ。教育相談者、適応学級指導者、生徒指導担当者必修講座。
	13:40 ～ 15:10 ■	会場の皆様と考える一問一答 『子どもの心を捉える生徒指導とは』 回答者 花輪敏男・牟田武生/司会 増田ユリヤ	悩みを持つ子ども、教師不信の強い子ども、善悪の規範意識の薄い子ども、無気力な子ども、様々な子ども達の心を開くことから始まる生徒指導。受容と指導のバランスを微妙に取りながら進める生徒指導のあり方を具体的に考える。

■のマークは時間内に質疑時間があります。

不登校問題研修会 申込書(平成 13 年 月 日)

☆

勤務先名 (領収書宛名)		申し込み・受講の規定をよくお読みになり楷書で丁寧にお書きください。なお、受講証の発送が夏休みに入ることも考えられますので、ご自宅の住所は必ずお書きください。
参加者名	〒 _____ TEL _____	該当する□にチェックし金額を記入してください。 受講日□22 日□23 日□24 日 申込方法□郵送□Fax お支払方法□現金書留□銀行振込□郵便振替 お振込金額 _____ 円
	〒 _____ TEL _____	受講日□22 日□23 日□24 日 申込方法□郵送□Fax お支払方法□現金書留□銀行振込□郵便振替 お振込金額 _____ 円